

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第1回 所沢市文化芸術推進会議
開 催 日 時	平成30年7月18日(水) 午前10時00分から午前11時40分まで
開 催 場 所	所沢市役所高層棟5階502会議室
出席者の氏名	宍戸 健司 正 嘉昭 嶋本 桃子 石田 尚子 成沢 富雄 竹田 香子 我妻 英 大久保 玲子 中村 治雄
欠席者の氏名	富井 大裕
説明員の職・氏名	なし
議 題	(1) 平成29年度事業結果報告について (2) 平成30年度事業について (3) 所沢市文化芸術振興ビジョン基本方針I(文化を楽しむ)について (4) その他
会 議 資 料	・会議次第 ・所沢市文化芸術推進会議委員名簿 (資料1) 平成29年度事業結果報告 (資料2) 市民文化センター(MUSE)H29事業報告 (資料3) 平成30年度事業スケジュール(文化芸術振興課)
担 当 部 課 名	事務局 市民部 部長 川上 一人 次長 鈴木 哲也 文化芸術振興課 課長 吉田 謙治 副主幹 古田 晃一 主査 堤 健太郎 主任 掛川 麻衣子 主任 青木 龍直  市民部 文化芸術振興課 電話 04-2998-9211

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会議成立の報告</li> <li>■ 会長あいさつ</li> <li>■ 会議公開の確認</li> <li>■ 傍聴手続（傍聴者 1 名）</li> <li>■ 配布資料の確認</li> </ul> <p>2 議事</p> <p>宍戸会長が議長となり、進行</p> <p>(1) 平成 29 年度事業結果報告について</p> <p>今年度初の会議ですので、まず議事(1)(2)について事務局から報告していただき、その後(3)について議論したいと思います。</p> <p>委員の皆様には、議事(1)(2)においては不明な点の確認などにとどめ、ご意見については議事(3)において積極的にしていただくようお願いいたします。</p>
事務局	<p>●資料 1、資料 2、所沢市文化芸術振興ビジョン（以下「ビジョン」という。）を用いて、平成 29 年度事業結果について報告。</p> <p>(2) 平成 30 年度事業について</p>
事務局	<p>●ビジョンに基づき、今年度、庁内の横断的な推進体制を整備することとし、庁内連絡会議を設置することを報告。</p> <p>また、資料 3 を用いて、今年度の事業のうち文化芸術振興課の関連する事業について説明。</p>
会長	<p>議事(1)(2)について、質問・不明点等があればお願いします。</p>
委員一同	<p>(質問・意見等なし)</p>
事務局	<p>(3) 所沢市文化芸術振興ビジョン基本方針 I（文化を楽しむ）について</p> <p>ビジョンに定めた 3 つの基本方針のうち、本日は 1 回目として基本方針 I（文化を楽しむ）を取り上げ、文化を楽しむというテーマに今の施策がきちんと追いついているか、織り込まれているかという点や、施策のヒント、優先順位などについてご意見をい</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>ただきたいと存じます。</p> <p>●ビジョン基本方針 I（文化を楽しむ）について説明。 （ビジョン P 36）</p> <p>本日のテーマは、市民の楽しめる文化、市民の方の活動とか「みて楽しむ」「やって楽しむ」ということになります。</p> <p>「みて楽しむ」というのは、一番代表的なものは、ミュージズのいろいろな公演に気軽に通っていただくということなどが充実しているのか否かということです。</p> <p>「やって楽しむ」というのは、実践のことになるので、市民の方が実際に音楽やお芝居をやったり、絵を描くという活動に対して市の施策がきちんと充実しているかというあたりをお話ししていただきたいと存じます。</p>
会長	<p>説明に対する質問やご意見はありますか？</p>
委員	<p>市民文化祭をいろいろとやられていますが、ミュージズのホールを使うときは、利用料を文化芸術振興課で補助をしているのですか？</p>
事務局	<p>所沢市には文化団体連合会という 19 のジャンルからなる大きな組織があります。長年にわたって地道に市内で活動されている方々がそれぞれ連盟等を作っていて、その団体でミュージズを利用するケースが多々あります。他のまちづくりセンター、いわゆる公民館で発表される団体もありますが、補助はミュージズを利用する際のホール使用料や付帯設備料金などの利用料金のみで、その一部を補てんする形で、こちらの財政事情との兼ね合いもあり、一定の条件のもとに一部補助をしているということです。</p>
委員	<p>経験上だと、ホール使用料を補助で賄って、付帯設備料金などは団体が払う、という感じでしたが。</p>
事務局	<p>おおむねそうなります。利用料金の一部の補助となりますので、付帯設備やスタッフ増員の料金まで補助金でカバーするのはなかなか難しいと思います。</p>
会長	<p>今回の意見は、庁内連絡会議にブレイクダウンして、そこで活用されるということによろしいですね？</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>いただいたご意見については、庁内の連絡会議に落として検討してもらおうようにしたいと思います。</p>
委員	<p>今、高齢者劇団を所沢市で作ってほしいという話があります。生涯学習センターで2か月に1回「ところざわ名人・達人の話を聞く会」があって、9月の例会で私が講座「みんなで劇を創る」の講師を依頼されました。</p> <p>実際に体を動かして、例えば、劇のある場面をグループで作ってみよう、役になって楽しもうという試みで、これを起点にしながら市民が参加した高齢者の劇団を発足させたい。今や、50代、60代、70代の方が女子高校生になって高校生の演劇を演じることも普通になってきています。</p> <p>会の実行委員が集まる会合に出向いたのですが、定年退職された方がほとんどでした。山に登る会や釣りの会、軽音楽のグループを作っているなど、それぞれの様々な市民の文化・芸術活動のグループのリーダー達でして、そこで劇を作るという話になったときに、それぞれの趣味を实践されている方々が「一緒に舞台に立ってみたい」「役者をやってみたい」というような発言をいただきました。</p> <p>もしかしたら「演劇」というのは、いろいろなところで活動している人達が文化的な活動を行う上で共有できる一つになっていくのだろう。今、学校教育で注目されている対話の力とかコミュニケーションの能力を高めていく上で、表現とか演技を行う「演劇」が有効だと指摘があるのですが、そんなところに高齢者の方々の今後の活動の一つの場を作っていけたらと私も楽しみにしています。</p> <p>高齢者だけではなくて、子供達が文化芸術に親しむだとか、障害のある方々がそういったものに積極的に一步踏み出していく、そして、文化芸術を市民のものとしていく試みをこの会議などが提言提唱してすすめていけたらうれしくありがたいな、と思います。</p>
会長	<p>おもしろい取組だと思います。</p>
委員	<p>今ここに世代もジャンルも違う方々が集まっていると思いますが、文化の楽しみ方はそれぞれだと思います。それを共有できる場として市民文化祭などを行っていますが、その情報を言い切る力が少ないと思います。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>特に若い世代がやりたいことをやるだけの状態になってしまっていて、いざ場があったとしてもその場限りの満足で終わってしまっています。それをいかにつなげてあげるかということの一つ考えていけたらいいのではないかと思います。</p> <p>例えば、去年の「空飛ぶ音楽祭」は、隔年でやるようなお話を伺っていますが、単発的に1回、また年をおいて1回だと先につながりにくい気もしています。もう少し長期的に、継続的にスケジューリングできたらと。市からの支援もそうですし、こういう有識者の集まった意見の場というものが、活性化させるためにはもう少し必要ではないか。</p> <p>逆に毎年同じことをやっていくとどんどんルーティン化していったって、去年と同じパターンをやればいいんじゃないかということは社会の中でよくあるので、むしろ総取替えて1年おきにするとかしたほうがいいのではという気がします。</p> <p>もう一つは、社会の状況が変わってしまうんですね。</p> <p>今は、Y o u T u b e みたいなものがすごいじゃないですか。だから、昔みたいに8ミリの回すようなことがすぐできるので、スマホで撮れるから、状況の変化みたいなものに追いついていける体制がとれないかなと思っています。</p> <p>確かにつなげていくことが大事なこともよくわかります。</p>
委員	<p>特にいま寿命が伸びていって働き方改革だか何だかやっていますが、自分達が年をとった時に本当に続けているのかなと。</p>
会長	<p>よくわかりますが、見ている視点が違うと思います。</p> <p>高齢社会になっていますから、人生100年ありますから、定年退職してからあと40年くらいあったりとかして、やっぱり楽しみみたいなものを探すのが必要だと思うのですが、それをごっちゃにして話した方がいいのか、若者の文化と分けて話した方がいいのか、すごく大切な事であると思うのですが。</p>
事務局	<p>世代論というのは必ず出てくるとなっていました。</p> <p>ビジョンの25ページにグラフが入っているのですが、2040年までは右肩上がりが高齢の人口が増えてくるのがわかります。その辺も踏まえての話がいただければありがたいです。</p> <p>ただ、他のページを見ると、やはり文化は若者のものと書いてある。本当に両輪なんです。</p> <p>ですので、どちらの側から語っていただいても、結論をまとめ</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>るということではなく、意見としてまとめる際には両論併記の形も可能です。</p> <p>いろいろな団体が発表をして、たこつぼ化している感じがある。それが悪いということではなくて、その中でいろいろなことが起きているが、他に伝わって行かない。</p> <p>その中で、日に焼けた奥さんが日舞を踊っていたりするのを見るだけでも私はすごいなと思っている。普段の暮らしからどうやって踊りが立ち上がっていくのか、その中で何かが起きているのだと思うのですが、そういうことを拾っていけない。もうちょっと拾える方法、そういうメディアみたいなものがあるといいと思います。</p> <p>それから、高齢者向けの劇団も、そういうところにどんどん参加していけばいいのですが、やることとか見ることについての話せる場がもうちょっとあってくれれば、それをきっかけで入ってきたり、見るときに手掛かりになったりすると思うので、そういう仕掛けがどこかで欲しいなと思います。やりっぱなしみたいなことは、まったくおっしゃるとおりだと思います。だからそれを受け止める仕掛けがあるといいなと。</p> <p>全部をフォローするのは無理だと思うのですが、何かそういう形ができると先につながっていけるのではないかと。</p>
委員	<p>去年実施した事業の「空飛ぶ音楽祭」には相当市の予算をつぎ込まれたのかなと思うのですが、この後どのような展開になるのですか？</p>
事務局	<p>「空飛ぶ音楽祭」については、市民の公募から出てきたアイデアを活かしたもので、当初はアマチュアの登竜門的な発想で始まったのですが、当課の設置時期と重なり何かやらなければという思い一致した経緯があります。</p> <p>アマチュアのファンの方もいるとは思いますが、野外ステージを使うとなるとなかなか2000席あるステージを埋めるのは難しいのでは、ということで、それ以降プロのアーティストも入れる方向に企画し、1年間準備をしました。</p> <p>実行委員会を組んでやりましたので、実行委員会のアイデアでいろいろと膨らんだこともあります。あの時はまだ手法としては地味だったクラウドファンディングは、そのあといろいろな業界で当たり前のようにやるようになりました。</p> <p>いろいろなことが同時に起こって大変だったのですが、それで</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>も終わってみれば非常に喜んでいただけて、次回につなげたい方向性もしっかりうまれました。</p> <p>次回の第2回については、絶対にやろうということは考えています。ただ、当時「隔年で」という言い方をしていたのですが、隔年の開催がちょうどミューズの休館中に当たり、ミューズがリニューアルした頃に第2回をやりたいと、少し路線を変えつつ、やっていこうと考えています。</p> <p>いろいろな事業のご説明があったのですが、ちょっと個人的には飽和な状態になっているのかなと気もします。</p> <p>選択と集中という言い方もありますが、市としてどこに力を入れていきたいのかをいろいろな話を議論しながら詰めていく必要があるのかなと思います。</p> <p>今現在、実際何処に力を入れていくのかという考えは文化芸術振興課の方ではありますか？</p>
事務局	<p>今日のテーマの「みて楽しむ、やって楽しむ」からすると、「空飛ぶ音楽祭」は非常に来ていただいた方には喜んでいただけたイベントでした。また、やって楽しむというのも、アートワークがあって、いくつかのアマチュアのアーティストが出て、そのステージも盛り上がりました。</p> <p>そういったことは、市民文化フェアなどを通じてもやっていて、継続的にやって行こうと思っています。</p> <p>今日のテーマと離れてしまいましたが、「空飛ぶ音楽祭」はどちらかという戦略的に所沢をアピールしようとしたものです。要するに県外、都内に向けて自然の環境に恵まれたところでやっていくということで、第2回のテーマになりますが、文化で魅せることで音楽を通じて所沢にもっと人を集めよう、そういったことの戦略の中で「音楽のあるまちづくり」、あるいは、「空飛ぶ音楽祭」というものは、やっていました。今後もその部分は当然引き続きやっていきたいと思っています。</p>
委員	<p>市民の方達が非常に活動的に様々なジャンルで文化活動されている長い歴史と、64回目を迎える「所沢市文化祭」、そうした所沢市の文化に感銘する市民の気持ちがいかに多いか、そして歴史が長いかということが非常に良くわかるのですが、それが「見える化」していない。</p> <p>同じ市民の中で、初めて「所沢市文化祭」を知りましたという人達がほとんどで、かつ、細分化されたジャンルの中で横のつな</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>がりについての施策がされていない。また、例えば、「市民俳句大会」の魅力はどういう風に伝えているのか、美術の世界でも同じだと思いますが、常に自分達やっている方は楽しいし、魅力があるというのはわかっているが、それを全然伝えられていない。そういったものを非常にこの文化祭に関しては感じると同時に、そういった問題を各行政が感じているからこそ、今日本全国で大型の芸術祭が流行っている実態がある。</p> <p>企業や行政が大きな投資をして、お金を入れ込んで、芸術祭でなんとか「見える化」して引っ張っていくというのがどうしても現状の主流にならざるを得ない状況だということも、問題点として実は業界内では議論されている。</p> <p>そういう中で所沢市は、あるいは所沢市に住む市民の方達は何をどうしたいのかということにもう一回ちゃんと話をするべきだと思っています。</p> <p>この委員会でもマジョリティは年配の方です。もちろん年配の方の意見も当然ありますし、ですから、さいたま市でやっている、蜷川さんが構成された高齢者の1万人のシアターも魅力的な内容になっていてちゃんと伝わっていますが、とにかく社会構成のマジョリティが高齢者なので、若者との中間の年齢層の人間としては、もちろん親の世代の言うこともわかるけれども、もっと下の後輩達に当たる世代、今子育て真っ最中の世代、もっと下の大学生、そういった方達の見え方というのも全然違うと感じています。どうしてもマジョリティの意見を見ていくと若者の意見が置いて行かれてしまう、もったいなさを感じるところで、一つ皆さんにこういう見方もあるということをお伝えしたいと思います。</p> <p>地方で芸術祭がたくさん行われている中で、若い人達がたくさん地方に流入してわいわいと楽しそうにやっていて、「現代美術なんて全く分からない」「アートパフォーマンスわからない」「演劇じゃない」「セリフが無い」「ただ非常にけったいなパフォーマンスをしている」という風に地元の年配の方々が思われている中でも、若い人達が夢中になってやっているから自分も少し「おにぎり持ってきたよ」とか「こっちきてお茶でも飲もう」という交流が別府などでは非常に盛んになっていたり、新潟の「越後妻有トリエンナーレ」でもやはり盛んだったりしています。若い人達のそういうやる気とか楽しんでいることに引っ張られる高齢者の方達もたくさんいるというのが実際にあるので、ぜひそこも含めて若者向けのコンテンツとか、彼らをどうやって育てていくか、その視点も是非持ち合わせて頂くと嬉しい。</p>



発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>その通りだと思います。</p> <p>そのためにはマーケティング。僕らはいろいろなことを知らなすぎるんです。これだけ時代は変わっているのに未だにすごい昔と同じことをやろうとしているとか。</p> <p>川崎は実は今フォークの聖地になっています。昔はダウンタウンで差別されていたところでしたが、スターが出てきてそれを求めて沖縄から来るとか、だんだん浸透してきた感じになっている。そういうことがまったく行政の人達は知らなくて、現場の人しか知らないみたいなことになっている。そういったことは調査、マーケティングをしなければならない気がします。</p>
委員	<p>さっきの妻有の話ですが、3年に1回の大地の芸術祭や、毎年小さいイベントもあって、伺っています。地元の方がお弁当を持ってきてくれたり、DJをそこでやってみたりして、これがお互い心地よく笑顔になれるという体験をしています。</p> <p>そこは過疎化が進んでいてトリエンナーレの時期は外国の方がいっぱい来ますが、そうではない時期は本当に地域の方と触れ合いに行くような形もありつつ、訪れた人同士でコミュニケーションをとったりして。そういうのは、受け入れてもらえないといけなくて、なかなか自分達では作れないので、すごく私達にとってはありがたい場です。</p> <p>ああいう芸術祭等は、真似しようとかではなくて、一つ研究材料としてもいいのかなと。</p>
委員	<p>既に「所沢市文化祭」があるのと、所沢ビエンナーレ「引込線」という非常に地味ですが実はアート業界では非常に硬派で、地方行政が多々やっている芸術祭よりももっと先行して10年前から行われてきた非常にハードコア、むしろロックな感じの芸術祭が所沢にはあります。既にそういう芸術祭があるので、私は、他の行政がやっているような豪華な芸術祭よりも、既存のそういう市民活動とプロの方達の非常にハードコアだけれども何とか階段を細かくして登ってきやすくしてあげるような形で既存の所沢ビエンナーレ「引込線」をもうちょっと拡大解釈したり、横の連携をつなげて、アートパフォーマンスや音楽も全部入れてもうちょっと違う枠組みにするとか、「空飛ぶ音楽祭」の関わり方も含めて、所沢ならではの無理のない地に足がついた大きな「見える化」されたものを一つ作ると。「所沢には美術館があるね」とは言われないから、文化の街としては、音楽の殿堂はあるのですが、どうしても不十分な印象を持たれがちな気がします。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>わかりやすく美術館があればいいですが、そういうわけではないので、そういう中で、そういったコンテンツ、「物」ではない「事」としての「見える化」を大きくはかると、ずいぶんと印象が市民の方達にとって違ってくるのではないかと。改めてゼロから作るのではなくて、既存のものを利用するのは一つの方法ではないかと。本当にそういうのは見ているだけでも楽しい。</p> <p>私は学生を連れていく立場であり、また、アーティストでもあり、いろいろな立場を持っていますが、「越後妻有トリエンナーレ」は、すごく貴重な時間を過ごしていると胸を張って言える数日間で、自然にも触れ合えて、かつ、過疎という何もない地域で何もないところから市民の方が必死に何か作り出そうとしているという力強さも感じたり、でも車が無ければどうにもならないなど、いろいろなことがある場所で、毎年、大きいイベントもそうではないイベントも、でもなんとなく同じようなラインにいて…。これは続くといいなと思います。</p>
委員	<p>三ヶ島のあたりには、農家が点在していて、クロスケの家があったりします。だから、あの辺へ話を聞きに行けば、昔のお茶農家などいろいろな人達の話が聞けたり同じようなことが体験できるかも。</p> <p>また、例えば、新所沢の先の花園のあたりとか街の様子が全く違って、そういう開発途上の街みたいな感じも面白いと私などは思うのですが。街の在り方とか、佇まいが全然違うのがいろいろなところにあるというのが、おかしな感じがして。</p>
委員	<p>それが文化ですよ？</p>
委員	<p>ちょっと話が「魅せる」の方に行っていますが、そういうところもピックアップして「魅せる」につなげていくべきではないかと。</p> <p>旧町のあたりの路地裏とか、なんてことはない路地だけど、最近の都市計画では絶対あのような道はできてこない。坂道の途中に横に走っている路地があったり、私はすごくおもしろいのではないかと勝手に思っているんですけど。</p>
委員	<p>確かにそういう素晴らしい部分を見つけて、それを編集（キュレーション）し直してちゃんと伝える形にするまでの作業が必要ですよ。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>今度「武蔵野樹林」という雑誌を作るのですが、武蔵野という多摩川から荒川までの大地全部をもう一回武蔵野派という形にして文芸とか芸術とかアートを含めて見直そうと。知識人の意見も踏まえながら雑誌を作るのですが、それはまさに今おっしゃったようなことです。</p>
委員	<p>それを編集して「見える化」された後に、地元の人がどのようにそれをエンターテイメントに仕上げ、来たお客さんが楽しんで帰ってもう一回来たいなというところまで地元の人とつなげられると、いい循環が初めてそこで生まれるんだと思います。</p> <p>でも、本当に緑の魅力というのは所沢市にはあって、三ヶ島の方から所沢の東側三芳町と隣接している方まで、グリーンベルトのように緑の地帯が実はつながっているなど私は感じていて、それはものすごくおもしろい。それこそイギリスのグリーンベルトの構想、都市の風景とダブって見える。そこら辺はおもしろくアピールして、なおかつ、そこで文化芸術に関わるイベント事が継続的に行われるとなると、緑と文化が合わさって、それって所沢らしいと市民の方達にも支持される、というように見えるのではないかなと。妻有のような、あんな圧倒的な自然では無いですけど。あれはあれとして、ここでは違う美しさがあると思うので。</p>
委員	<p>前回の時に出た「清流に魚は住まない」という言葉がものすごく頭に残っています。ここまでの話もものすごく綺麗な昼間の文化。この前も川越で映画のイベントに出ていたのですが、川越はいっぱい人が集まります。でも、たぶん暗くなったら人はいなくなる。</p> <p>「夜、文化は作られる」という言い方も過言ではないと思います。例えば、ミュージズに行きたいイベントがあって行くとして、行く前に早めに行ってどこかにたむろしようとしても何も飲食できるところが無く、終わってからたまれない。人がたまれない街なんです。</p> <p>ですから、美術館も無いし、まずホテルが無い。だから、人を呼べない。</p> <p>人が集まれば自ずから文化が生まれてくるのですが、ニワトリが先か卵が先かという話になってしまうのですが、魅力的な街なら人が来る、人が来るけど泊まらない。イベントをしても夜10時になると時計を気にするわけです。これではダメです。</p> <p>魅力的なイベント、例えば、ミュージズでの市民文化祭とかにしても、ミュージズのイベントをどこで知るのでしょいか。魅力的な</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>イベントがあれば飛んでいきますよ。でも、ミュージズのイベントは知らないし、魅力的なアーティストが来れば自分の耳に入ると思いますが、そういうこともない。</p> <p>例えば、ファッションにしても女の子の買うお店だとか魅力的なお店があるのかとか、ライブハウス、飲食。下北沢を芝居の街にするんだ、と情熱的でお金を持った方がしたように民間の情熱みたいなものが大事だと思います。そういう民間の情熱を持った方の後押しを自治体がしてくれると最高だが、なかなかそういう傑物は出ていらっしやらない。ちょっと残念だと思います。</p> <p>川崎のチネチッタもそういう情熱があそこまでさせているわけで、素晴らしいところです。</p> <p>例えば、今度の東所沢の角川さんについて、話せる範囲で思惑みたいなものを聞きたいです。なんであそこに作ったのか。電車の便も悪い。例えば、大江戸線があそこまでくるのか。そういうことも思ってしまおうとあそこで何ができるのか、その思惑を話せる範囲で聞いてみたい。</p> <p>倉庫をつくるというのがだったのですが、藤本市長と話をしている中で文化に関係してきたということ角川会長が考えまして、やった後にじゃあバスを通せばいいじゃないか、電車を通せばいいじゃないかと。</p> <p>推進する人がいなかったら何も始まらなくて、「これは無理」と言ったら終わってしまうわけで。やると言ったらやる、金はいくらかかってもいいからとにかくやれ、みたいな話です。そういうパトロン的な人は必要なんです。</p>
委員	<p>昔は西武がセゾン文化というものを西武線沿線に持ち込んで、その集大成が池袋のセゾン美術館や銀座のセゾン劇場、六本木にあるWAVE。セゾン文化の香りを一気に郊外住宅生活者に持ち込んだ一つの拠点として小手指の西友がありますよね。あそこはその当時の一線のクリエイターの方達が文化を完全に一企業が作って持ち込んでくれたというところがあったと思います。今はそれが薄れてしまい、残骸があるという感じになっている状況の中で、私も角川さんが企業として大きく建てられるときにどういった文化を作ってくれるのだろうかとすごく思っています。</p>
委員	<p>私は文芸をやっていたので、小説のこととか短歌、俳句などは詳しいですが、角川のメインの儲かるもの・人が集まるものはアニメだったり、オタク的なものなので、それと例えばロックとか</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>俳句、短歌みたいな詩歌とか、ポジションは違うのですが、そういうところから始まって広がっていけばいいかなと思っています。</p> <p>全部が全部、みんなが理解する必要はないと思っています、ちゃんとコミュニティがそこはそこで出来上がってればいいと思っています。</p> <p>所沢はベッドタウンとして栄えていて、それで退職した時に足元を見るとなかなか所沢もいいじゃないかと思っいろいろなことに参加するという、私はどちらかというところの方で、皆さんはそこから色々なものを作りあげてきてそれを融合しようという話になっていきますが、私はまだ本当に底辺で、音楽のことならいろいろ所沢、ミューズでやっているのも知っていますが、逆に、それこそ俳句だとか音楽でないことは何も知らなくて。</p> <p>この前も、いろいろな歴史的なものとか読んだのですが、20年以上住んでいますが、子供達と違って社会科見学とかで行ってなくて、知らないことがすごく多いです。</p> <p>先月、滝の城址公園の甲冑の行列を初めて見たのですが、宣伝が東所沢のあたりにいっぱいしてあったので、やることがわかって見ることができました。</p> <p>伝えることがすごく難しいと思います。私もクラシック音楽をやっていますが、文化芸術振興課とか「音まち」とかでずいぶん宣伝していただいているのですが、それでもなかなか浸透していかない。いろいろといいことをいっぱいやっていると思いますが、それをどう発信するのが大事だと思います。角川さんが何かなさるといことで、みんなものすごくアンテナを張っている感じがする。そこに何か焦点をしばれば、みんなが見るんじゃないかと。</p> <p>また、先ほどの50歳以上の男女で高校生の劇をやる話も面白いと思います。でも若い人も入れないといけないんじゃないかという気もします。自治会のことをやっているのですが、役員の平均年齢は70歳くらいですが、ぽんと若い30代くらいの方が思いがけない意見を出したりするので、やはり若い人の意見って大事だなどものすごく感じているので、やっている人はとても楽しいと思うのですが、若い人が見に来るかな、若い人の意見が入っていれば広がっていく、続けていけるかなと。</p> <p>わからないけど行ってみたらおもしろいかもしれない、みたいなきっかけも、やはりそこに交わりがあるからあるので、高齢社会になりますが若い人も入れながらやっていくことと発信の方法</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>をを考えていったらいいと思います。</p> <p>やはり「見える化」して刺激を与え続けないと、つながって行かないと皆さん痛感されているとよくわかりました。</p> <p>40年近く所沢に住んでいるのですが、地域差って本当にあって、私が生まれ育ったところは新興住宅地で文化を求めるとみんな都内まで出ていました。その頃まさにセゾン文化だったので、池袋に行っていた。それが、西武が廃れてきて、そういうところにミュージズというすごいホールができて、小澤征爾などが来てちょっと箔がついて、ちょっと自信が無い所沢が良くなった。</p> <p>今は久米の近くなんですが、久米の地域というのは地元の農家の文化がすごくて、里山が実は駅から近くにあって、それこそありえないというか、農道がそのまま車通ってるような感じの所。そこに移るまでは「ところざわまつり」を知らなくて。そういうのをやっていることは知っていたのですが、初めて見たときはすごいことをやっていると感じました。そういう所沢ブランドみたいな、地域によって温度差があるというのも、市民の中でもどう伝えていくか、というのが必要なのではないかと思います。</p> <p>角川のプロジェクトについては、私のまわりでも知っている人がいない。市の上の方と角川の人達が何かやっていて、ホームページを見るかぎりすごいものができるらしい、くらいの感じです。</p> <p>でも、よく見てみると、若い自分の子供なんかでも「エヴァンゲリオン」とか「君の名は」とか、そういう小さい子でもわかるメディアがせつかくあるのだから、そういうものを表に出して駅の宣伝などに使うとか、角川が実は所沢にすごいものができるんだ、とすれば、周知できるのかなと。</p> <p>若い世代で、実はポテンシャルを秘めた人というのも私のまわりに結構いますが、子育て、仕事に忙殺されて文化芸術ということにはなかなか二の足踏んでいるという人が多いです。50歳以上の方の、私でも蜷川さんがやっているのは知っていて、お年寄りが楽しそうにやっていて、今度は海外からも呼んで、シニア向けをやって。なんとなく自分の10年後とか20年後にはそういうところに入って参加できたら楽しいのではないかというのはあるのですが…。</p>
委員	<p>本当に伝えるのは難しい。</p> <p>なかなかそれぞれの中でやっていることが伝わっていかなくて、つながらないで、いろいろなところでバラバラにいろんなことが起きているという状態を、所沢の外から来た人がどうやって</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>自分の生き方、暮らし方でそういうものを確認するか。</p> <p>暮らしていることと文化的な作業というのが決して離れているわけではなく、地続きのものとして見えるように提示していきながら、もう少しそれぞれのやっていることの中が見えるような、プロセスが見えるような編集とか、広報とか、そういうことがあるとおもしろくなっていくのではないか。</p>
会長	<p>だいぶ活発な議論も出尽くしたと思いますので、庁内の中で揉み返してもらえればと思います。</p>
事務局	<p>今のご意見の中でやはり見える化とか発信力ということが複数の委員から出ましたが、そのへんは足りていないと感じています。</p> <p>いいことをやっている人はいっぱいいるし、それこそミュージズではない所でもいろいろやっていますし、それについては、例えば、うちの課はミュージズの所管課ですので、そのことについては伝えてこちらとしてもできるところからやっていきたいと思ます。</p> <p>また、所沢の街として夜の文化だとか泊まるところが無いということは再三いろいろなところで話が出ます。これは庁内連絡会議で関係部署に伝えていきます。所沢の街の成り立ち、基地の中にミュージズができてしまったのでそこが歓楽街にはなりえなかったという歴史がありまして、そこを踏まえてどのようにしてミュージズの後に飲みに行ったりできるのかというあたりはずっと悩んでいるところですけど、何かまだ考えるヒントがあると思ますので伝えていきたいと思ます。</p>
委員	<p>去年も話しましたが、酒場なんです。酒場から文化が生まれる。</p>
委員	<p>公団があるじゃないですか。</p> <p>公団の1階は一応お店があったりして、あと事務所が沢山並んでいて、あそこの雰囲気が変わるだけでもミュージズまでの道なりが全然変わると思う。ゆくゆくは基地をなくして宿泊施設と繁華街を作って、緑の中の繁華街ですね。</p>
委員	<p>先ほどもありましたけど、お弁当を持って行くとか、衣食住に密接にかかわってくるとリアリティがでてくる。泊まったりとか、食べたりとか、飲んだりとか。お客さんで来て、帰りますではなくて、もうちょっと衣食住にかかわってあげればいいなと感じます</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	けど。
事務局	2回目のテーマはそっちに入っていきますので。
会長	それでは、議論も出尽くしたということで議事の4その他について事務局から説明をお願いいたします。
事務局	次の会議という話もありましたが、その日程の関係で前回の会議で確認させていただいておりますが年明けの1月頃でよろしいでしょうか？
委員一同	（了承）
事務局	その頃に日程の方を調整させていただきますのでよろしく願いします。
会長	特になければ本日の議事はこれで終了とさせていただきたいと思えます。
	<p>平成30年度第1回所沢市文化芸術推進会議の会議録として承認する。</p> <p style="text-align: right;">会長 <u>        </u> 宍戸 健司</p>